

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成28年4月14日 (2016.4.14)

【公開番号】特開2016-28166(P2016-28166A)

【公開日】平成28年2月25日 (2016.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2016-012

【出願番号】特願2015-213363(P2015-213363)

【国際特許分類】

C 0 9 J 133/14 (2006.01)

C 0 9 J 133/02 (2006.01)

C 0 9 J 133/04 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 133/14

C 0 9 J 133/02

C 0 9 J 133/04

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 175/04

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

G 0 2 B 5/30

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月25日 (2016.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

重合体を構成する単量体の合計が 1 0 0 重量部に対して、n - ブチルアクリレート 8 0 ~ 9 7 . 8 重量部 ; 4 - ヒドロキシブチル (メタ) アクリレート 2 . 5 ~ 5 . 5 重量部及びカルボキシル基含有単量体 0 . 0 5 ~ 0 . 3 重量部を重合単位で含み、重量平均分子量が 7 0 万 ~ 1 2 0 万のアクリル重合体及び多官能性架橋剤を含み、

コーティング固形分が 2 0 重量%以上であり、架橋反応後のゲル分率が 5 5 % ~ 8 5 % である光学フィルム用感圧粘着剤組成物。

【請求項 2】

前記アクリル重合体は、重量平均分子量が 7 0 万 ~ 1 0 0 万である、請求項 1 に記載の光学フィルム用感圧粘着剤組成物。

【請求項 3】

前記カルボキシル基含有単量体が (メタ) アクリル酸、2 - (メタ) アクリロイルオキシ酢酸、3 - (メタ) アクリロイルオキシプロピオン酸、4 - (メタ) アクリロイルオキシ酪酸、アクリル酸二量体、イタコン酸、マレイン酸またはマレイン酸無水物である、請求項 1 に記載の光学フィルム用感圧粘着剤組成物。

【請求項 4】

前記多官能性架橋剤がイソシアネート架橋剤である、請求項 1 に記載の光学フィルム用

感圧粘着剤組成物。

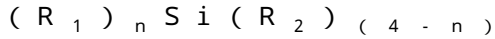
【請求項 5】

前記多官能性架橋剤は、アクリル重合体 100 重量部に対して 0.01 ~ 5 重量部で含まれる、請求項 1 に記載の光学フィルム用感圧粘着剤組成物。

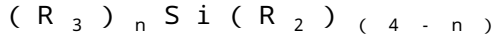
【請求項 6】

下記化学式 1 または 2 で表されるシランカップリング剤をさらに含む、請求項 1 に記載の光学フィルム用感圧粘着剤組成物：

[化学式 1]



[化学式 2]



上記化学式 1 または 2 で、 R_1 は、ベータ - シアノアセチル基またはベータ - シアノアセチルアルキル基であり、 R_3 は、アセトアセチル基またはアセトアセチルアルキル基であり、 R_2 は、アルコキシ基であり、 n は、1 ~ 3 である。

【請求項 7】

前記シランカップリング剤は、アクリル重合体 100 重量部に対して 0.01 重量部 ~ 5 重量部で含まれる、請求項 6 に記載の光学フィルム用感圧粘着剤組成物。

【請求項 8】

前記コーティング固形分が 25 重量%以上である、請求項 1 に記載の光学フィルム用感圧粘着剤組成物。

【請求項 9】

架橋反応後のゲル分率が 60 ~ 80 重量%である、請求項 1 に記載の光学フィルム用感圧粘着剤組成物。

【請求項 10】

偏光フィルム；及び上記偏光フィルムの一面または両面に形成されており、偏光板を液晶パネルに付着するために使用され、且つ、請求項 1 に記載の感圧粘着剤組成物を含む粘着剤層を有する偏光板。

【請求項 11】

液晶パネルの一面または両面に付着している請求項 10 に記載の偏光板を含む液晶表示装置。